

6. 竹淵小学校区 八尾市の未来を語るタウンミーティング（開催日：平成20年12月17日）での意見への対応状況

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年4月現在)
<p>① コミュニティバス関係</p> <p>○ 竹淵地区は交通の便が悪く、八尾市の中心部に行くのが大変で、市役所や保健センターなどに行くことが困難です。特に、高齢者や幼い子どもを連れた方は、なおさらです。乗り合いなどで対応していますが大変です。コミュニティバス等の交通手段の整備はできないでしょうか。</p> <p>○ コミュニティバスが赤字であったから廃止と言うのは納得できません。マイクロバスなどの運行の助成などを考えていただけませんか。</p>	<p>○ コミュニティバスは、赤字だけでなく、需要が少なかったため、廃止をいたしました。</p> <p>○ 福祉バスや大阪市営バスや近鉄バスと協議を行うなど色々な方策について検討していきたいと考えています。また、民間病院のバスなどもうまく利用できないか考えていきたい。</p> <p>○ 市民の交通の利便性については検討をしていきたいと考えています。</p>	<p>○ コミュニティバスについては、費用対効果の観点から一旦廃止したところです。本市では子どもやお年寄りを含めた市民の移動利便性の向上に向けて、様々な観点から検討を行い、八尾市として効果的な公共交通体系を考えていきます。</p> <p>また、今後は地域おける交通問題を市民とともに考える仕組みづくりに取り組んでまいります。</p>
<p>② JR 阪和貨物線関係</p> <p>○ 阪和貨物線跡を有効に活用して、危険な自動車対策をしていただくことはできませんか。</p>	<p>○ 阪和貨物線は、廃止が決定いたしました。線路は撤去する予定ですが、盛土をどうするかなどについてはこれから検討していきたいです。</p>	<p>○ 阪和貨物線は平成21年3月31日をもって正式に廃止路線となりました。廃線敷きは、八尾市と大阪市にまたがっており、土地を所有するJR西日本や接続する大阪市と協議を行っている状況です。</p> <p>○ 今後は、ご意見の自動車対策も含め地域の方々のご意見を聞きながら関係機関と</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
		連携を図り、有効的な活用について検討していきたいと考えています。
<p>③ 外国人高齢者関係</p> <p>○ 市政運営方針で、「八尾市国際化施策推進基本方針」について書かれていますが、この方針に基づいてどのような施策をされていますか。</p> <p>在日外国人の 1 世の方たちの中には日本語の読み書きができない方も居られます。出張所で相談すると丁寧に対応はしていただけるのですが、今以上に行政が情報提供する際には、不利益を被らないような心遣いがないでしょうか。</p> <p>○ 我々市民がボランティアでできることは協力しますので、市側も前向きにサポートしていただきたいです。</p>	<p>○ 日本語が分からないためにトラブルに発展する例があります。市役所も多言語化していく必要がありますので、現在「中国語」と「ベトナム語」の通訳を配置しています。</p> <p>○ 人権尊重のまちづくりに取り組んでおり市役所からの情報提供についても、多言語での取組みが必要と考えています。</p>	<p>○ 平成 20 年度の重点施策の一つに、「八尾市国際化施策推進基本指針・計画の推進」を掲げ、国際化施策推進計画に基づき、さまざまな分野での施策の推進に努めております。</p> <p>○ 特に平成 20 年度では、ベトナム語、韓国・朝鮮語、中国語での外国人市民相談事業を開始するとともに、外国人市民への情報提供についての調査を実施したところです。</p> <p>○ 今年度につきましても、多言語での行政情報の提供等を充実するなど、外国人市民との共生のための施策を進めてまいりたいと考えております。</p>
<p>④ 出張所等のバリアフリー化について</p> <p>○ 出張所のバリアフリー化について考えていただきたいです。高齢者が講座を受け</p>	<p>○ 八尾市の公共施設はバリアフリー化が遅れています。今後、改善はしていきます</p>	<p>○ コミュニティセンターはコミュニティ活動や生涯学習の拠点施設であり、施設の</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
<p>るために3階まで荷物を持って上がるのは大変なため、辞めていかれる方が多く、地域のコミュニティの弱体化につながっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 出張所にエレベータをつけていただきたいです。</li> <li>○ 出張所のカウンターの高さやトイレに行く道のりは、車椅子の人にとって辛いです。</li> <li>○ コミュニティの活動を地域固定ではなく、広域的にすることはできませんか。</li> </ul>	<p>が、災害時の避難所となる学校の体育館の耐震化を、より優先したいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 竹湊出張所については、施設のスペースから考えて、エレベータ設置は困難です。</li> </ul>	<p>バリアフリー化は耐震化とともに、市民の安全安心を確保する観点からも大変重要な取り組みと認識しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中でも耐震化は市民の生命を守るという意味からも優先的に取り組む必要があると認識しておりますが、財政状況等また施策の優先順位などにより早々の実施が難しい状況でございます。</li> </ul>
<p>⑤ 高齢者の社会進出について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高齢者（特に男性）の活躍の場をつくってください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 元気な高齢者が高齢クラブに入っておられます。高齢クラブなどに、もっと市の事業をお願いできないかと考えています。</li> <li>○ 敬老祝い金の廃止を検討していますが、その代わりに、地域包括支援センターを増やしたいと考えています。これからは個人給付ではなく、多くの高齢者の方が身近なところで、介護のことなどを相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高齢者の中には、地区福祉委員会や高齢クラブ、民生委員・児童委員など、すでに地域の中で活躍している方がたくさんおられます。今後も地域の高齢者を支える活動を紹介したり、元気な高齢者が地域で困っている高齢者の相談窓口となり情報の提供や相談・助言を行うこと、地域でのレクリエーション活動やボランティア活動の企画・運営を行うことができる</li> </ul>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
	<p>できるような環境をつくっていきたいと考えています。</p>	<p>ようシルバーリーダー養成講座を開催するなど人材の養成や組織作りを支援してまいります。男性はいままでのライフスタイルから地域との繋がりが希薄なこともあり、高齢クラブなどへの加入も少ない傾向にありますが、いままでの経験を活かせる活躍の場などの情報提供に努めてまいります。</p> <p>また、今までの経験を活かし生きがいづくりの就労の場としてシルバー人材センターを支援してまいります。</p>
<p>⑥ 諸証明の出張所での取得について</p> <p>○ 出張所で納税証明書が取れません。出張所で取得できる証明書の種類を増やしていただけませんか。</p>	<p>○ 出張所で取得できる証明書の種類が少ないため、ご不便をおかけしています。また、本庁が来庁者で混雑するという現状があり、出張所で取得できる証明書の種類が増やせないか考えています。</p>	<p>○ 出張所で納税証明が取得できないことで不便をおかけしています。しかしながら出張所での納税証明書発行のためには、出張所へのオンラインシステムの導入等費用面からも現状では難しいと考えています。今後は、納税証明書が必要な場合、郵送での受付の方法のPRに努めていきたいと考えています。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
<p>⑦ 竹淵地域にスポーツ施設や病院を建設することについて</p> <p>○ 竹淵地域に病院やスポーツ施設を作っただけませんか。</p>	<p>○ すぐに対応することはできませんが、旧八尾南高校跡地のグラウンドを防災公園とし、平常時はレクリエーションに利用したり、体育館を使っただけののではと考えています。また新家町の調節池の上部を多目的運動広場として活用できないかと考えています。</p>	<p>○ 現在の所、すぐに対応する事はできないと考えています。しかしながら、今後は旧八尾南高校跡地の防災公園や新家町の調節池の上部利用など検討をすすめていますので、周辺にレクリエーション施設が増えていくと考えています。</p>
<p>⑧ 通学路の安全確保について</p> <p>○ 交通規制のある通学路に沢山の車が通っているのが危険です。ボランティアで子どもたちの見守りをしていますが、マナーの悪い運転者に注意したらトラブルになるので、警察に要請して取り締まっただけではないでしょうか。</p> <p>○ 通学路に歩道を整備していただけないでしょうか。</p>	<p>○ 交通規制のある通学路については、警察と話し合いをしています。</p> <p>○ バリアフリーや歩道の設置については、危険性の高いところから実施できるようにしたいと考えています。</p> <p>○ ワッペンやジャンパー等で共通の物を作成し、見守りをすれば効果があるという話を聞いたことがあります。</p>	<p>○ 要望箇所については、以前より八尾警察署に取り締まり等の要望を行っているところであり、引き続き巡回などの対応を強化いただくよう要望してまいります。</p> <p>また、地域の交通安全については地域の皆様の協力が必要不可欠であると考えており、今後も地域の皆様と連携した取り組みを実施してまいりたいと考えます。</p> <p>○ 今年度、通学路の実態調査を予定しておりますので、その中で検討していきたい</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
<p>⑨ 乳幼児の医療について</p> <p>○ 乳児相談が年 4 回だったのが、利用者が少ないとの理由で年 1 回になり、また 2 回になりました。これは今の子育て支援の流れに逆行しています。手厚くすれば八尾市のアピールにもなるため回数を増やしてほしいです。</p>	<p>○ 乳幼児医療の助成対象は、4 歳までとじていましたが、平成 20 年の 7 月 1 日から就学前まで拡充しました。</p> <p>○ 妊婦検診の助成対象回数を 1 回から 2 回に増やしました。今後も拡充していきたいと考えています。</p> <p>○ 子育てしやすい環境を作っていきたいと考えています。</p> <p>○ 乳幼児の相談は大阪府からの交付金化の流れも有りますので、どのようにしていくか検討をしていきたいと考えています。</p> <p>○ 子育てに限らず就労など、全体的な市民総合相談ができるような対応ができないかと考えています。</p>	<p>と考えております。</p> <p>○ 乳児相談については、身近なところで利用いただけるよう市内 13 か所において年 4 回実施し、多くの方に利用いただいております。また、別途「つどいの広場」においても保健師が出向き乳児相談等を行っています。今後も身近な相談窓口として継続していく予定です。</p> <p>○ 全庁的な相談体制については、庁内各課と連携を図り、相談業務の情報収集や案内など、今後も適切に対応してまいります。</p> <p>○ 子どもを安心して生み、育てていただくために、妊産婦健診の助成について、平成 20 年度において従来の 1 回から 2 回に増やし、平成 21 年度より母体の保護や胎児の健康確保、ならびに健診に要する経済的負担の軽減を図るため、14 回の健診を対象に 1 回につき</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成 21 年 4 月現在)
		<p>2, 500 円の助成（受診券方式）を実施しております。</p> <p>○ 乳幼児医療費の助成については、大阪府の福祉医療制度を活用して実施しておりますが、平成 20 年 7 月に、その通院の対象年齢を就学前まで拡充し、現在は通院（外来）・入院ともに就学前まで助成しております。</p> <p>今後とも、子育て環境の向上に努めてまいります。</p>